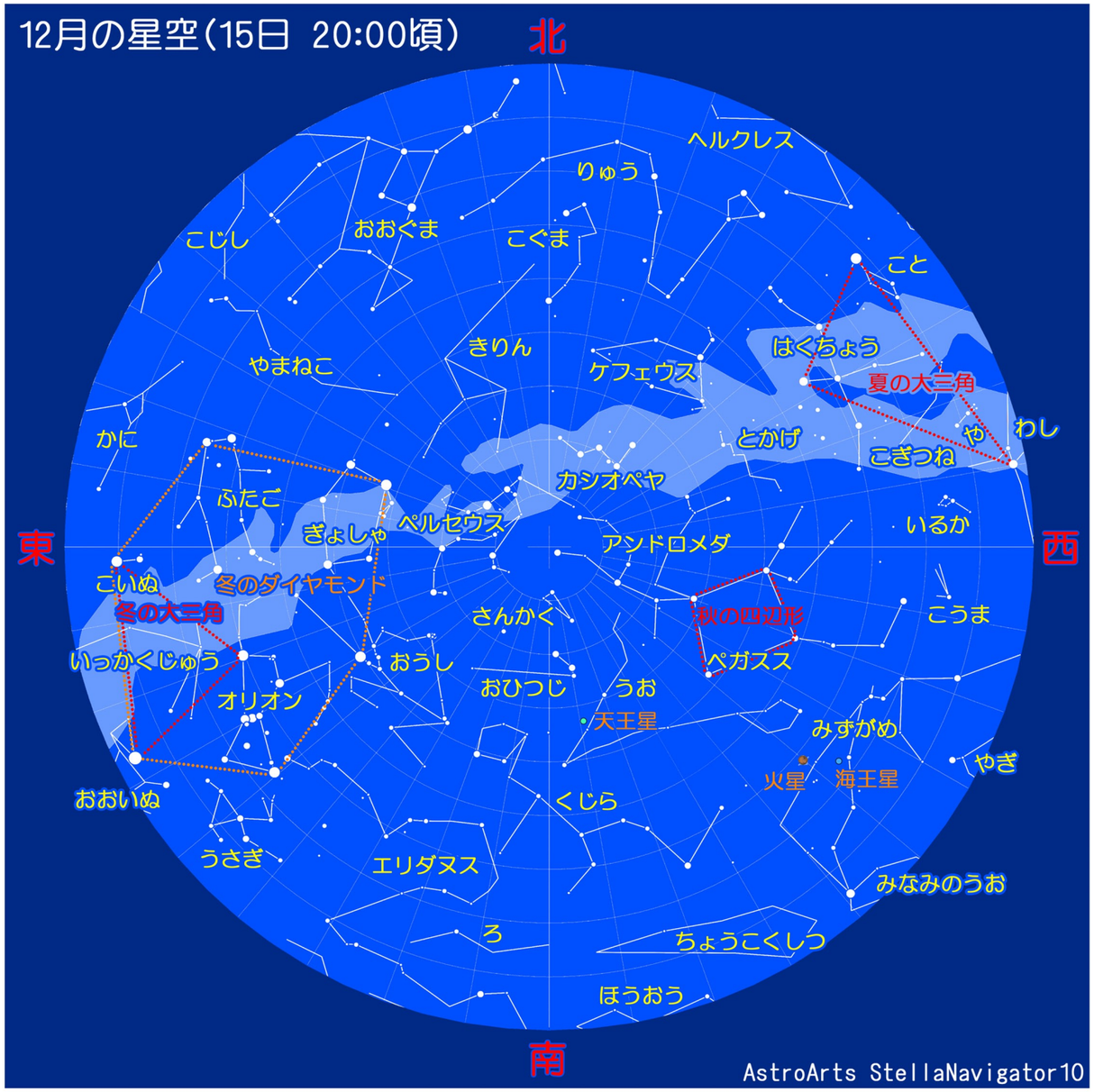
銀河の森天文台
2018年12月みどころ天体情報



今月のイチオシ！

☆ウィルタネン彗星（46P）

ウィルタネン彗星は1948年にカール・ウィルタネンによって発見された周期4.5年の周期彗星です。12月中旬には地球に接近して3等台まで明るくなり、肉眼でも見ることができるようになると期待されています。しかし、地球に接近することで拡散して見えてしまいはっきりとは見えないかもしれません。ウィルタネン彗星が肉眼でもはっきりと見えてくれることを期待しましょう。

ウィルタネン彗星
（2018年11月29日）

月

		出	没
7日	●新月	06:08	16:02
15日	◐上弦	11:45	23:14
23日	○満月	16:28	07:02
29日	◑下弦	23:36	11:28

天文台から月を見ることができるのは9～23日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

天王星・海王星

太陽系の外側から２つの惑星、天王星と海王星が見頃を迎えています。天王星はグリーンっぽく、海王星はブルーっぽく見えるのが印象的です。

太陽からの距離

天王星：約29億km

海王星：約45億km

M37（散開星団）

ぎょしゃ座にある明るい３つの散開星団のひとつでその中でも星の密集度が高く、非常に見ごたえのある星団です。りくり望遠鏡では、視野一面に星々が広がる様子を見ることができます。

距離：約4400光年

M42（散光星雲）

オリオン大星雲と呼ばれ冬を代表する天体のひとつです。望遠鏡では、星雲の複雑な模様を観察することができます。中心部には生まれたばかりの４つの星（トラペジウム）が四角く並んでいます。

距離：約1400光年

M1（超新星残骸）

おうし座にある星雲で、「かに星雲」と呼ばれています。M1は1054年に出現した超新星の残骸で、このときの超新星爆発は、日本でも「明月記」に記録が残っています。

距離：約7200光年

アルマク（恒星）

色違いの重星では、はくちょう座のアルビレオが有名ですが、このアルマクも負けてはいません。オレンジ色と青色の星が寄り添う姿がとても綺麗です。

距離：約394光年

M35（散開星団）

ふたご座のお兄さんの足元に位置する、明るく大きな散開星団です。約500個の星からなり、15cm双眼鏡では、微光星が密集した見事な姿を見ることが出来ます。

距離：約2850光年

ちょっとマニア

- NGC2158（散開星団）

M35のすぐ西側に位置する星団です。M35に寄り添うように見えますが、実際にはM35の4倍も遠くに位置しています。15cm双眼鏡ではM35とNGC2158を同一視野に見ることができます。

距離：約11000光年

その他おすすめ

- M76（惑星状星雲）
- NGC1514（惑星状星雲）
- NGC1535（惑星状星雲）
- ガーネットスター（恒星）
- メサルティム（重星）

12・1月の銀河の森天文台カレンダー

12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28	29

1月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日